

古文を現代語訳してみよう。古文は日本語だから、かんづき単語帳を見ながら考えれば、自力でできる。

かんづき単語帳	本文	現代語訳
<ul style="list-style-type: none"> 信濃の国に＝信濃の国の →現在の長野県 	信濃の国に更級しつら所じ'	
<ul style="list-style-type: none"> 更級 → そのまま(地名) 	男住みぢり。	
<ul style="list-style-type: none"> けり → 過去(した、ていた) 	若老し老に親は死にければ'	
<ul style="list-style-type: none"> 死にければ＝死んだので 	若老し老に親は死にければ'	
<ul style="list-style-type: none"> なほ＝おほ(叔母、伯母) 	なほなほ親のいふじ'	
<ul style="list-style-type: none"> なほ＝がいて' 	なほなほ親のいふじ'	
<ul style="list-style-type: none"> いふじ＝いふじ 	若くもり＝若くともから	
<ul style="list-style-type: none"> 若くもり＝若くともから 	若くもりあり添ひしあるじ'	
<ul style="list-style-type: none"> あり添ひてあるじ 	若くもりあり添ひしあるじ'	
<ul style="list-style-type: none"> ＝一緒に暮らして来たが 	この妻の心 憂老しつらむし'	
<ul style="list-style-type: none"> この妻＝この男の妻 	この妻の心 憂老しつらむし'	
<ul style="list-style-type: none"> 憂老しつ＝憂情な年 	この姑の若くかか若りし思たるを	
<ul style="list-style-type: none"> 姑の＝姑(しゅうごう)が 	この姑の若くかか若りし思たるを	
<ul style="list-style-type: none"> 若く＝年若くて 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> かかまりて＝腰か曲かして 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> みたるを＝見るのを 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> 親じしつみつじ 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> ＝いつか懐かしう思つた 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> 御心の＝お心が 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> たかなく＝高地懸く 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> あしおしつ＝あしおしつ 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> たれば＝したので 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> いふじにせあらぢ＝いふじはなす 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> あつたるいふ＝あつたるいふ 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> いふははのため＝いふははにたつ 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> なりゆかり＝なつていつた 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> なりゆかり＝なつていつた 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> なりゆかり＝なつていつた 	親じしつみつじ'	
<ul style="list-style-type: none"> なりゆかり＝なつていつた 	親じしつみつじ'	

古文を現代語訳してみよう。古文は日本語だから、カンクキ単語帳を覗きから覗けば、自力でできるー。

	しのをば、	
<ul style="list-style-type: none"> ・いといたう＝たいそん ・若い＝年若い 	いといたう若いと、	
<ul style="list-style-type: none"> ・二重にてぬたり＝腰が折れ曲がっていた ・これを＝このことを ・なほ＝いっそも 	二重にてぬたり。	
<ul style="list-style-type: none"> ・所狭かりて＝邪魔者扱いして 	しの嬢、所狭かりて、	
<ul style="list-style-type: none"> ・死なぬじよ＝死なずにいるなんて 	命まで死なぬじよと罵つて、	
<ul style="list-style-type: none"> ・ちからぬじよ＝ちんちんが口を ・言ひつゝ＝くちくちと 	ちからぬじよを言ひつゝ、	
<ul style="list-style-type: none"> ・持こしまつて＝持こたへて ・捨て給ひても＝捨ててしまつてくれたら 	「持こしまつて、」	
<ul style="list-style-type: none"> ・七のめ＝ど、ひたすら ・責めければ＝責めたので ・責められわびて＝（男）謝り認められた 	七のめ責めければ、	
<ul style="list-style-type: none"> ・ち＝その ・つてお＝つておち ・罵ひなりぬ＝罵つちめつた 	責められわびて、	
	ちつておと罵ひなりぬ。	

古文を現代語訳してみよう。古文は日本語だから、かんぐ単語帳を見ながら考えれば、自力でできる。

かんぐ単語帳	本文	現代語訳
<ul style="list-style-type: none"> 甲の＝甲が 甲かき＝甲る いね細く＝ねあ、いらつやう 手に＝手で わや＝夷賊 見せ奉らむ＝お見せしまじまつ 言ひければ＝言ったので 限りなく喜びて＝大層喜んで 食はれにけり＝食われた 住みければ＝住んでいたのだ はるはる＝厭厭 下り来ぐく＝下りていられたる あらぬ＝なごころ 来ぬ＝来た 言く＝言っただけ いらく＝返事 家に来て＝家に帰って来て 思ひをる＝考えられている 言ひ腹立てける＝ (腹か) 苦む口して腹立たせた 折＝とち うつれ＝うたがへ 年じろ＝長年 養ひつつ＝養ひ続け あひ添ふ＝一緒に暮らす にければ＝いたので い＝とち 	<p>甲のいと明かき夜、 「嬬も、いね細く。 手に書きたるはる、 見せ奉らむ。」と言ひければ、 限りなく喜びて食はれにけり。 嬬も山の麓に住みければ、 その山にはるはるい入りて、 嬬も山の麓の、 下り来ぐくもあらぬに 體たて送けて来ぬ。 「やや。」と言く、 いらくもせて送けて、 家に来て思ひをるに、 言ひ腹立てける折は、 腹立ちて、 かくうつれむ、 年じろ親のいし 養ひつつあひ添ひにければ、 いし送つておほえけり。</p>	

古文を現代語訳してみよう。古文は日本語だから、カンペキ単語帳を見ながら考えれば、自力でできる。

カンペキ単語帳	本文	現代語訳
<ul style="list-style-type: none"> ・より＝から 	<p>この山の上より、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・月も＝月が ・いと限りなく＝とても 	<p>月もいと限りなく明かして</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・明かして＝明るく ・出でたるを＝出たのを 	<p>出でたるを眺めて、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・夜一夜＝一晩中 ・寝も震られず＝寝るに震られず 	<p>夜一夜寝も震られず、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・悲しう＝悲しく ・おぼえければ＝感じたので 	<p>悲しうおぼえければ、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・かく＝このように ・よみたりける＝詠んだのだった 	<p>かくよみたりける。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・わが心＝私の心は ・くかねつ＝くしまれない 	<p>わが心慰めかねつ</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・更級や＝更級の 	<p>更級や姨捨山に照る月を見て</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・よみてなむ＝詠んで ・行きて迎へ＝迎えに行こう 	<p>よみてなむ、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・持て＝連れて ・来にける＝来たのだった 	<p>まだ行きて迎へ持て来にける。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・より＝から ・いひける＝言った 	<p>それよりのちなむ、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・慰めがたし＝慰めがたい ・とは＝というのは 	<p>姨捨山といひける。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・よし＝由来 ・になむありける＝なのであった 	<p>慰めがたしとは、</p>	
	<p>これがよしになむありける。</p>	